

件名	H29 第 2 回湯梨浜町泊地域小さな拠点検討協議会記録	
日時	2017 年 5 月 18 日(木)18:30~20:00	
場所	中央公民館泊分館 2 階大会議室	
出席者	(委員 10 名) 遠藤公章、石沼友、田嶋昭彦、岩本馨、石本義之、朝日田卓朗、鷺野星夫、 (敬称略) 渡邊由佳、石井美佳代、坂田克 (オブザーバー) ・ 区長 2 名 小浜区長、泊 4 区長 ・ 県中部総合事務所地域振興局 栃本リーダー、久保田係長 ・ 地域おこし協力隊 辺 (事務局) 湯梨浜町役場みらい創造室 山根副町長、岩崎室長、谷岡主事 計 18 名	
決定事項 (合意事項)	・ 住民説明会を実施(検討事項報告、意見聴取)	
次回までの 調整事項	・ 住民説明会の日程調整	
配布資料		
<p>(会長)今回で 9 回目の協議会となり、この辺りで協議会の方向性などまとめたものを住民の方に報告し、ご意見をいただきたいと考えている。前回の協議会を受けて 5 月 1 日に事務局・会長・副会長で案をまとめたものを資料として提示している。委員の皆さんの意見を聞きたい。公民館・役場・漁村センターで利用されている機能にプラスしてどのような機能があれば、地域の方がたが暮らしやすいかを検討したい。</p> <p>配布資料について事務局から説明を頂く。</p> <p>(事務局)拠点の候補として 3 カ所を挙げているが、あくまでも案なのでこの中から選定するというものではない。施設機能の集約と買い物の場をどこに設けるかということを検討していきたい。</p> <p>1. 候補地</p> <p>【候補 1】漁港があるエリアで、漁港区域内のエリア。 【候補 2】青少年の家、つわぶき荘、あさひこども園があるエリア。 【候補 3】中央公民館泊分館があるエリア。</p> <p>2. 警戒区域等図(資料)</p> <p>警戒区域を色分けしている。(解説別紙参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害特別警戒区域(レッド区域)：施設を整備する上で法規制が多い、費用負担も大きく生じるが各候補地がこの区域から外れていることが図からわかる。 ・ 土石流危険区域：人家などに被害を及ぼす恐れがあると言われている。法の規制はない。 ・ 山地災害危険地区：法律上の規制はないが、県等が治山事業を進める上で基礎資料として示されたもの。 ・ 最大浸水：3.11 以降に鳥取県において影響があるとされている断層(3 カ所)の地震による最悪の状態(堤防が機能しない)を想定した場合の浸水エリアを示している。 <p>3. 施設の利用状況(資料)</p> <p>①泊分館・漁村センター利用状況：平成 28 年度では同時最大部屋利用数は 4 となっている。漁村センター・泊分館を合せて 9 部屋あるが、実質 4 部屋あればいいことがわかる。</p>		

②泊分館、漁村センターの調理室・ロビーの利用状況を掲載している。利用状況を確認した結果、調理室は1カ所あればいいことがわかる。

4. 買い物

①簡易店舗設置(はたマーケット：小売主宰のボランタリーチェーン)

品目：約 800 品目

メリット：商品一括物流システムで無理のない仕入れが可能、ムラのない在庫管理、低価格

加入時：約 160 万円

客単価：1600 円/人とする、毎月 15 万円程度の費用が必要

その他：全日食以外からの仕入れも可能

会社：全日食チェーン

②移動販売(とくし丸/軽トラ)

品目：軽トラ 1 台で 400 品目、1500 種類を取り扱う。

提携店舗：天満屋ストア(八頭町)/鳥取県内

形式：販売代行(仕入れ金 0 円)、基本的には毎週 2 回/コース

車両費：330~350 万円、毎月必要経費：10 万円程度

提携スーパー：とくし丸 1 台ごとに 50 万円の契約金、毎月 3 万円/台のロイヤリティ

会社：株式会社とくしまる

(委員)全日食の説明を受けて、とても良心的な会社だと思う。中山間地や泊のような地域でも小さなスーパーが成り立つような仕組みを作ってくれている。小ロットから仕入れることができるということで、とても良心的だなと感じた。大手のコンビニではなく、このような全日食チェーンならやっていけるかと感じた。ただ、先方も商売なので、5 年後 10 年後売れなくなったときに、損をしないような仕組みを作っているのかなと思った。

(会長)問屋さんが減ってきているので、泊にある店を続けたくても続けられないという状況(問屋難民店)になっている。店を維持するためにはこのようなシステムに頼らざるを得ないのかなと感じる。

(委員)マーケットの話については、拠点が決まればそこで運営するというで進めているのか。

(会長)その通り。

(委員)個人的には、泊地域であれば移動販売の方が特性に合っていると感じている。①港辺りに店舗を設置して全てをカバーできるのかと言えば、車がない人からすれば行くことが出来ない。②波多地区の視察に行ったが、店舗が全くないという状況で設置しているが、泊地区の場合には少し店舗が残っているなかで、安い店舗が出来てしまうと、影響があるのではないか。足かせにならないか。

(会長)確かに、既存の店舗との利害関係も生じるが、連携や協議は必要だと思う。泊の人にとっては、高台に設置するとあまり人が集まらないのではと言われているが、住民の意見としてはいかがか。

(区長)自分の地区では 9 号線にバス停があって、そこに上がるまでに坂がえらいという人が多い。社協等のバスは、海岸に降りてもらおうようにしている。高齢者にとっては坂道を上がるのは健康のためにはいいが、大変だと言われると思う。避難訓練でも、坂道をどう上がるのかという点で苦労している。

(区長)先ほどの地区に比べれば、比較的上がりやすい。新しい店舗が出来るということは良いことだと思うが、確かに既存店との調整が難しいと思う。

(委員)やってみないと分からない。(自分の店は既存店だが)仕方ないと感じている。売れるものしか置いていないし、受注発注しかしていないので、どうにかなるかなと感じている。

- (委員)候補 1、2 が使いやすいかなと思う。原、小浜などの住民のことも考えるとそう感じる。
- (会長)医院さんとか、合銀さん、漁協さん、郵便局のついでということもあると思う。
- (委員)移動販売だと自分は使う機会がないと思う。買い物難民で生活されている高齢者にとってはいいかもしれない。競合との調整や新たな店を立ち上げる時の問題を考えると、決めかねる。
- (会長)競合と言えば 3、4 店舗ほどかと。
- (委員)すでにディスカウントショップなどがあるので、影響が出ている。
- (会長)(母親が経営する店舗は)競合というよりも、どちらかといえば、周辺高齢者のサロンのような場所になっている。もう一つの店舗はまだ元気で若いので、調整が必要かもしれない。
- (委員)既存の店舗とは、どうにかなると思うが、それよりも、誰をターゲットにするのかが不明だ。買い物難民をターゲットにするのであれば、それを検討しなくてはいけないし、店舗を設置するのであれば、そこまでの交通手段を検討する必要がある。
- (会長)波多マーケットもなんとか移動手段を確保していたので、それも検討することが望ましい。
- (委員)店がどこになるかが決まっておらず、新しくできた集合体に設置するのであれば何年も後になる。計算も出来ないで、町の皆さんの意見で決めてもいいのかなと思う。採算でいうと、本気で店舗を残そうと思えば、達成できると思う。もしそれに至らなければ、町の皆さんのニーズがそれほどでもなかったと言えると思う。この会で、決定するのはなかなか難しい。
- (委員)宇谷に住んでいるが、以前コンビニがあった頃にはよく利用していたので、どちらかと言えばあったほうがいいかな、と思う。防災の問題なども検討するとなると、港界限では難しいと思うので、協議会だけで決めるのは難しい。運営面も考えなくてはいけないと思う。
- (区長)配送サービスにも力を入れられるようなシステムを持つ店舗が望ましいと思う。電話注文で持っていくなどのサービスも取り入れればいいのではないかな。
- (委員)この話は誰をターゲットにするか、から始まっている。泊地区で店舗を考えるのであれば、交通を考えなくてはいけないし、とくし丸のように、決まった時間に来てくれるとなれば、利用者もいるのではないかなと思う。どちらも捨てがたい。
- (委員)一長一短がある。店舗を構えるのであれば場所も重要になってくる。住民説明会ではどのように報告する予定か。
- (会長)案を提示して意見を吸い上げるという場にしたい。店舗のことだけでなく、公共施設の集約の件も含めて提示する予定だ。
- (委員)泊 3、4、5、6 区は自前の公民館がなく、漁村センターを利用しているので、それを考えると候補 1 が良いと思う。防災を考えると、しおさいプラザ・体育館・つわぶき荘も残るので、災害時にはそちらを利用して、公民館等として活用するのであれば候補 1 が良いのではないかな。
- (ワザバー)店舗を車に乗る人も利用するというのであれば、その人たちの利用も検討しなくてはいけない。集まる機会があれば、その時にこじんまりで買えるという方法もある。
- (ワザバー)移動販売であれば、ある程度の売り上げの見込みが必要だ。意外と売れているのは、お菓子などで、ある程度客単価が取れるような仕組みを考えなくてはいけない。
- (ワザバー)移動販売も客単価がないところには出向かないと聞いている。
- (委員)今は羽合まで行くが、泊地域に店舗があれば行くと思う。
- (会長)波多マーケットのような低価格であればいいな、と感じた。
- (事務局)自分たちの店だという意識づけが大切だと思う。例えば今月の売り上げを公表するなどして、皆さんに意識付けすることも必要かなと思う。
- (事務局)やはり一番大事なのは住民の気持ちだと思う。東郷でも、A コブ[®] がなくなったことで困っていると言われている。店舗があれば買いに行くのか、という総意が必要だと思う。

- 今ある移動販売車も売り上げがなければ行かなくなってしまうのが現状だ。
- (ワザバー)コミュニティスペースも設けるといふことであれば、移動販売よりも店舗を設けることで人が集まると思う。
- (事務局)高齢者の生活がどうあることが望ましいのか、というのを考えることが必要だと思う。店舗、移動販売どちらかというのではなく、両方を検討することも必要だ。
- (ワザバー)交流の機能を持ち込むことも必要だと思う。来てもらうための移動手段を検討することも必要だ。
- (会長)医院に行きたくても行きにくい、という話があったりして、医院に来てついでに買い物が出来れば、といったことも考慮する必要がある。
- (ワザバー)サロンなど、活動しているタイミングに合わせて移動販売をするなど時間配分をすることも必要だと思う。
- (会長)資料をまとめて、住民の方に説明し、意見を求め、その後協議会でまとめる方向にしたい。
- (区長)候補 1 は詳細にはどこを想定しているのか。
- (会長)この辺り。サカナクワイ屋の前の土地で、民有地。候補 2 は青少年の家を解体した後、候補 3 は公民館を解体した後のイメージだ。
- (委員)候補 2、3 を選択した場合は、青少年の家や、公民館を活用するのか。
- (会長)新築を想定している。
- (委員)今ある公的施設を集約するということは、他が全てなくなるのか。今、中央公民館泊分館があるところに建てることになるのか。
- (事務局)いずれなくなるということになる。
- (会長)その通り。役場機能も含めて検討することになる。住民の方にも考えていただく機会にしたいので、まとめていきたい。

■住民説明会について

- (事務局)案の案を住民の皆さんに提示し、意見を聞いてから協議会で考えをまとめるということになる。
- (会長)住民説明会の告知方法はどのようにするのか。
- (事務局)町報、放送、ケーブルテレビ、文字方法など。また、各区長にそれぞれ広報していただくとうりがある。
- (会長)一枚ものの資料(簡単な説明、候補地など記載)を配布することは可能か。
- (事務局)区長の了解が得られれば資料の全戸配布も可能だと思う。
- (区長)各区で回覧し、回覧と合わせて放送をすればどうか。
- (事務局)文書配布は本来 1 回/月(月末)なので、それをまたいだ後の日程になる。
- (会長)皆さんに来てもらうことが望ましいので、6 月末に文書配布して 7 月に開催するのであればいいか。「小さな拠点、住民説明会をする」、というだけの内容ではイメージが出来ないと思うので、あまり人が来ないだろう。関心を持ってもらえるように内容を掲載したい。
- (区長)各区に出向いて説明することが望ましい。
- (会長)時間を割けるのであればそうしたい。3 か所くらいに絞るとか。
- (委員)(店舗の)お客さんにも説明しようとするが、なかなか難しい。住民に説明するとなれば不安だらけ。あまり前向きじゃない住民にどう意識を高めてもらうのか、はとても難しい問題なので、なかなか集まらないと思う。
- (会長)そこは努力しなくてはいけない。説明を各地域に住んでいる委員に丸投げするわけではない。
- (委員)月末にこだわらず、資料を作成して、出来次第配布するというのは不可能なのか。

- (事務局)可能。回覧という話もあったので、各区長さんにご協力いただければ。
- (委員)回覧よりは、一斉配付の方がよいと思う。宇谷はあまり回覧する機会がなく、放送（役場の告知機）だけを利用している。
- (委員)どういう説明をするか。意見を吸い上げるというのであれば、各地区に行ってその地区が欲していることを吸い上げることが必要だと思う。主催する方も大変だとは思いますが。
- (会長)筒地、小浜、石脇、泊 1～6 区・港区は一つとして、園、浜山、原、宇谷の 8 カ所か。
- (委員)過疎計画の時ほどのように広報したのか。
- (事務局)基本的に各区単位で、区長と協議して開催。ある程度時間がかかった。
- (会長)8 カ所なので、みんなで分担すればどうか。
- (ワザバー)買い物弱者の方の意見を聞くのであれば、小さな単位が望ましいと思う。
- (委員)サロンの日に合わせて役員に声かければ 30 人くらい集まると思う。
- (委員)小学校の運動会や奉仕作業の日などはどうか。
- (会長)なかなか難しいのではないか。
- (会長)区長と調整して、手分けして話をしに行くことにしましょう。
- (委員)構想を話して意見を頂くということか。会長副会長は出る必要があるのではないか。
- (会長)では、会長・副会長のいずれかが必ず出席することにする。6 月中に終わらせるということで良いか。区長、副会長さんと調整しながら実施したい。日程が決まったらご案内するので、住民の皆さんの意見を直接聞いていただきたい。

住民説明会：筒地、小浜、石脇、泊（1～6 区、港区）、園、浜山、原、宇谷で実施。